

## 【平成25年度の学校評価】

本年度の重点目標	本校の特色を活かし、地域から愛され信頼される魅力ある学校づくり・・・生徒・保護者の夢を叶える学校		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒指導 (生徒指導部) (各学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら身だしなみを整え、あいさつ、言葉遣い、時間を守るなど規律ある態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校時の校門指導、定期の身だしなみ指導等あらゆる場面で指導をする。</li> <li>・携帯電話等の預かり指導を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学校生活の様子、家庭状況などを把握し指導に当たる。</li> </ul>
学習指導 (教務部) (各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた学習環境を構築する。</li> <li>・授業規律の確立と理解できる学習指導、分かりやすい授業、考える授業をベースに生徒の力を伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の読書を通じて集中力を高め、文字情報からイメージすることで脳を鍛える。</li> <li>・授業開始のチャイムと同時に号令ができ、興味を持って授業に臨めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高いレベルの授業内容を、わかりやすく、興味関心を持てるように指導する。</li> <li>・朝の読書で読書に集中できる雰囲気や体制を全校で取り組む</li> </ul>
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上</li> <li>・SPIの必要性、自己のレベルの確認</li> <li>・コミュニケーション能力の向上</li> <li>・本校にあった講演者の発掘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力診断テストの実施</li> <li>・SPI問題集の実施</li> <li>・職業適性検査の実施</li> <li>・年6回の面接指導の実施</li> <li>・1年生インターンシップの実施</li> <li>・工業高校卒業生の講演実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来の夢」実現のために、1年生の段階から挨拶やコミュニケーションの大切さを理解させ、学校全体でインターンシップに取り組む。</li> <li>・基礎力や面接力を高めるために、普段から社会人としての姿勢を教えていく。</li> </ul>
PTA活動・式典 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動を通して地域への連携を深める。</li> <li>・安心・安全な環境作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動を活発化し、行事・式典等積極的に活動するよう常に連携を図る。</li> <li>・防災マニュアルを活用するよう訓練を重ねる。</li> <li>・備蓄など非常時の安全な環境作りを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動を活発化するため、役員、評議員と連絡をとり、学校への理解と協力を深める。</li> <li>・非常時への対応や、防災訓練をより現実的なものにするための計画をたてる。</li> </ul>
生徒会・部活動・広報 (生徒会部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動を通して心身共に成長させる。</li> <li>・2,3年生も部活動へ積極的に参加させる。</li> <li>・各行事や部活動結果などの積極的な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動のルールやマナーの徹底から社会的な礼儀作法、教養を身に付けさせる。</li> <li>・部活動を継続して努力することの大切さを理解させる。</li> <li>・学校ホームページやメール連絡網を積極的に活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて適宜ミーティング等を行い、顧問と部員の信頼関係を築き、指導に当たる。</li> <li>・各学年や分掌と連携をして情報を収集、発信をする。</li> </ul>
保健活動 清掃美化活動 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内美化の促進</li> <li>・健康意識の定着</li> <li>・相談体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃道具の充実</li> <li>・ゴミの分別の徹底、減量化の推進</li> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・疾病予防についての知識の定着</li> <li>・相談しやすい環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃用具を点検し、美化活動の効率化を図る</li> <li>・全校集会や学年集会、HR活動で健康的な生活習慣の重要性を伝える。</li> <li>・定期的に「保健だより」を発行しクラス掲示する。</li> <li>・利用しやすい相談室の雰囲気を作る。</li> </ul>
資格取得 (工務部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格・検定取得を高校生活の到達目標のひとつと位置づけ、積極的に支援し奨励するとともに、指導体制の強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格・検定に関する情報を詳細に提示し、生徒の資格・検定取得への意欲を高揚する。</li> <li>・関連教科との指導の連携を図る。</li> <li>・プログラミング言語Cへの移行を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラムの実施にともなう学習内容の変更点に留意し、きめ細かな情報提供と効果的な指導を心掛ける。</li> </ul>
機械科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習室の整理・整頓</li> <li>・資格取得の奨励</li> <li>・課題解決能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5Sの徹底</li> <li>・資格取得に関する啓発活動の展開</li> <li>・補充、補習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時の安全意識を高める。</li> <li>・学習環境の整備に力点を置き、落ち着いた環境を整備する。</li> </ul>
電子機械科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒個々の基礎学力の向上を目標に、家庭での学習習慣づけを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子機械科課題を準備し、継続的に生徒の学習活動の手助けを行う。</li> <li>・課題の評価を行い、学習意欲の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の提出指導を行い、規律正しい生活・学習習慣を身につけさせる。</li> </ul>
電気科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業を大切にし、基本学力をしっかりと身につけさせる。</li> <li>・第2種電気工事士免許取得に向けての指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境を整え、課題を与える。</li> <li>・資格取得のための補習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のニーズに対応した人材育成や生徒の進路実現のための生徒指導を心掛ける。</li> </ul>
情報システム科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を重点にし、日々の座学・実習を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学や実習の始まり、終わりのけじめをつけさせる。</li> <li>・社会に対応できるようにする。</li> <li>・資格取得への対応を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科全体で取り組む体制を整え、多様な進路希望に対応できるように心掛ける。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体罰・いじめのない安全・安心な学校づくりについて</li> <li>・生徒第一（プレーヤーズファースト）を念頭とした教育相談の充実について</li> </ul>		

# 【平成24年度の学校評価】

## ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	<p>安心・安全な学校づくりの推進（環境整備の充実、安全教育の推進・徹底、危機対応マニュアルの活用・定着）          挨拶が日本一できる学校づくりの実現（挨拶、礼儀を重んじ道徳性・社会性の向上を図る）          生徒・保護者の夢や進路を叶える学校づくりの推進（就職・進学100%の実現）          教職員の資質向上に向けた研修等の体制整備（年間1人2回の研究授業の実施、現職研修の充実、各種研修会への積極的参加と伝達講習会の実施）</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒指導 (生徒指導部) (各学年)	・身だしなみを自ら整え、あいさつ、言葉遣いなど社会に通用する生徒を育成し、落ち着いた学校生活を送らせる。	・登下校時の校門指導、定期的な身だしなみ指導の充実と始業時の挨拶・身だしなみ指導等あらゆる場面で指導をする。 ・携帯電話の預かり指導をする。	・各生徒の家庭状況、学校での生活の様子などの確に状況を把握して指導に当たる。
学習指導 (教務部) (各教科)	・授業規律を確立し、学習意欲の向上を図る。	・朝読書を行って気持ちを落ち着かせ、授業に入る姿勢を作る。 ・授業の始め、終りの挨拶を大切に、互いに高め合う気持ちを持って臨む。	・授業を大切に、分かりやすい授業を展開できるよう心掛ける。
進路指導 (進路指導部)	・生徒が自らの個性や適性を把握し、望ましい職業観が育成できるようキャリア教育を推進する。	・インターンシップや進路講演会、進路ガイダンスなど様々な情報提供や体験活動を通じて望ましい職業観・勤労観を身に付け、主体的な進路選択が出来るよう支援する。	・「将来の夢」実現のため1年生の段階から挨拶や礼儀作法を徹底させる。 ・インターンシップ事前指導・事後指導を徹底指導し、充実したインターンシップを実施する。 ・基礎力診断テストや職業適性検査を行い、学ぶ意欲を喚起する。
P T A ・ 広報活動 (総務部)	・PTA活動の活性化と防災活動の充実を図る。	・保護者への広報活動を充実させる。 ・防災に対する心構えなど、生徒に関心を持たせる。	・保護者と学校の連携を充実させることにより、P T A 活動についての理解を深める。
生徒会・部活動 (生徒会部)	部活動を通して社会性を養い、精神面の強化を図る。 部活動加入率を上げる。	・部活動のルール・マナーの徹底から社会的な礼儀作法、教養を身に付けさせる。 ・2・3年生になっても部活動に加入し努力することの大切さを理解させる。	・必要に応じミーティング等を行い、部活動顧問と部員の信頼関係を築き、指導に当たる。
保健活動 (保健部)	・校内美化の推進 ・健康意識の高揚 ・利用しやすい相談室	・清掃マニュアルの作成 ・掃道具の充実 緑化運動 ・健康的な生活習慣の確立 ・病予防についての知識の修得と実行 ・相談しやすい環境づくり	・清掃用具を点検し、清掃マニュアルを徹底させる。 ・花壇へ花植えをし緑化活動に努める。 ・全校集会や学年集会、HR活動で健康的な生活習慣の重要性を伝え、生徒保健委員会で毎月「保健だより」を発行しクラス掲示する。 ・利用しやすい相談室の雰囲気を作る。
資格取得 (工務部)	・資格・検定取得を積極的に支援し、奨励するとともに、指導体制の強化を図る。	・資格・検定に関する情報を詳細に提示し、生徒の資格・検定取得への意欲を高揚する。 ・関連教科との指導の連携を図る。	・特に資格・検定の日程等に留意し、きめ細かな情報提供と効果的な指導を心掛ける。
機械科	・実習室の整理・整頓を励行し、基礎的な技能技術の修得と発展に努める。	・昨年に引き続き、5Sの徹底を図る。 ・技能検定を中心にした資格取得を多くの生徒が目指すよう奨励する。	・実習開始前の伝達の中での指導に力点を置く。 ・進路指導と関連付けながら指導をする。
電子機械科	・学習環境の整備と基礎学力の定着を図り、進路実現を支援する。 ・社会に役立つ生徒を育成する。	・ゴミのない環境で授業に臨み課題等を与え、基礎学力を定着させる。 ・あいさつ、身だしなみ、言葉遣いなどを徹底させる。	・授業開始前に学習環境を整え、毎日の課題等により、基礎学力を積み上げていく。 ・将来の夢を叶えるため、礼儀作法を徹底させる。
電気科	・授業規律を中心とした基本的習慣の確立を図り、学習環境の向上に努める。	・各授業時の礼儀作法が日常的に習慣化されるような指導の徹底と学習環境の向上に取り組む。	・社会に求められる人材育成を念願に置き、生徒の進路実現と関係付けながらの指導を心掛ける。
情報システム科	・基礎・基本に重点を置きつつ個々の能力の向上に努める。	・個々の能力を引き出す授業等の工夫をし、多様な進路希望に対応できるように心掛ける。	・日々の授業を大切に学力の向上に努める。 ・就職・進学に対応できる人材を育成する。
総合評価	<p>今年度も、学習指導、生徒指導、進路指導など学校教育活動全般においてアンケート結果（保護者・生徒）は高い評価をいただいている。昨年度に続き厳しい経済状況の中で就職内定率100%を実現したことや、進学希望者対応クラスによる進学指導に努めていることが要因と考えられる。また、挨拶や身だしなみ指導を中心に、学習環境の充実、部活動の活性化や資格取得に力を入れていることが信頼を得られている原因である。特に、今年度は安全・安心な学校を目指し、災害時備蓄、メール配信、緊急時安否確認システムの構築など防災対策を軸に幅広い取組をしたことも評価されている。</p>		

## イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全教育の推進による安全・安心な学校づくりについて</li> <li>・身だしなみ、挨拶等の基本的な生活習慣の確立と充実について</li> </ul>
<p>自己評価結果について</p>	<p>重点目標の1番に掲げた、「安全・安心な学校づくりの推進」を図る上で、従前からの学校安全の取組をより充実させた。また、学校安全コーディネーターの設置、各種マニュアルの整備、防犯カメラの設置、交通安全立哨活動、1年生を対象とした自転車免許取得制度、防災講話等、新たな取組も積極的に行った。これらの活動が評価され平成24年度の「愛知県学校安全優良校」として県表彰を受けた。</p> <p>重点目標の2番目に掲げた「挨拶が日本一できる学校づくりの実現」に向け、生徒に意義を伝え、学校全体で一丸となって取り組んだ。来客からは大変高い評価を得ることができた。また、身だしなみ、挨拶等の基本的な生活習慣の確立においては、学校の取組について93.8%の保護者が「十分に指導している」（学校評価アンケート結果より）と、高い評価をしている。</p>
<p>今後の改善方策について</p>	<p>保護者や生徒に対して行っている「学校評価アンケート」の結果をしっかりと分析し、よりよい学校経営に生かして欲しい。課題研究で様々な取組を行っているが、代田中学校の朝礼台の修繕のように、営繕部隊による地域貢献を考えてはどうか。学習方法としてインフォメーション形ではなく、これからの社会はエク্সフォーメーション形が有効であるため、そのような機会を教育現場で設けて欲しい。保護者に学校の様子を一層理解いただくには、いかに学校から発信した情報がうまく伝わるかである。効果的な情報発信方法をさらに考えていただきたい。小中学校の連携はしやすいが、それに比べると中高の連携はなかなか難しい点がある。まずは近所の子供たち同士のコミュニティーのつながりを深め、地域として子供たちの連携を図っていくことが重要である。</p>
<p>その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）</p>	<p>教室内の生徒の荷物の整頓について、避難時の安全・安心の面からも鞆の配置について検討願いたい。</p> <p>今の子供たちは今後の日本、世界を支えるリーダーとなることは間違いない。このことを生徒に伝え、また優秀な人材を育てて欲しい。</p> <p>エアコンに頼らず、エコを考慮して緑のカーテンを設置してはどうか。</p> <p>女子生徒が少ないため、できる範囲で女子の意見を取り入れていただきたい。</p> <p>生徒は、挨拶がしっかりとでき、明るくとても好感がもてる。</p>
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成・・・学校評議員（5名）、保護者（3名）、学校関係者（4名）</li> <li>・評価時期・・・6月下旬、11月中旬、2月中旬</li> </ul>